

少年の主張吾妻地区大会

8月18日、ツインプラザにおいて、平成23年度少年の主張吾妻地区大会が開催されました。郡内各中学校の代表が集まり、それぞれが自分の思いを主張しました。

本村からは3年生の木村ひかりさんが『身近な幸せ』と題して、素晴らしい発表をしてくれました。その作品をここに紹介します。

(少年の主張吾妻地区大会優秀作品)

『身近な幸せ』

高山中学校 三年 木村 ひかり

私たち中学生は、毎日何気なく学校へ通っています。「毎日学校へ行くこと」があたりまえのことであり日常の生活となっているので、「学校へ行けなくなる」とは思ったことはないでしょう。確かに私も、そう思っていました。しかし、数ヶ月前の出来事で、その思いは一変しました。

私は今年の五月、顔面神経麻痺という病気の治療のため、二週間の入院を経験しました。この病気はそれほど重いものではありませんが、ステロイド剤の副作用、顔が動かないことへの不安、点滴をしている不自由など、予想以上に大変な思いをしました。しかし、この入院を経験して、大切なこと

を知ることができました。

それは、「あたりまえ」のありがたさです。この入院で、私はあたりまえの生活ができなくなりました。入院生活は、朝起きて何をすることもなく、ぼんやりとしているうちに毎日が過ぎていくようでした。私は、何もかもみんなに置いて行かれるような気がして怖くなりました。そんなときに励みになったのが、友達からの「早く元氣になつて、戻ってきてね。」や、「がんばれ。」と書かれた手紙と、手紙を持って面会に来てくれる家族や親戚・先生のお見舞いでした。私は、とても元氣づけられました。そして初めて気づきました。今まで何気なく過ごしていた学校や部

活の時間、家での生活、友達や部活や家族の存在など、自分にとってはあたりまえだと思っていたことが、どれほど大切だったかということ。こんなに学校や部活に行きたい、友達に会いたいと強く思ったのは初めてでした。私が今こうしていられるのは、身近に多くの支えがあったからです。母は、私が異変を感じてすぐその日のうちに、病院に連れて行ってくれました。私はそのまま入院し、そこで十分な治療を受けられました。病院は家から少し離れたところにありましたが、家族は毎日見舞いに来て、私を安心させてくれました。友達存在は、入院中も、退院して学校に戻ってから、とても心強く感じました。

ところが、こういったあたりまえの生活を、一瞬にして奪っていくものがあります。東日本大震災で一瞬にして家や家族をなくした人、原発で住むところを追われた人は、どんなにそれまでの生活を振り返りたいと願ったことでしょうか。大切な家族や友達、居場所を失った悲しみは、言葉にならないくらい大きく深かったと思います。私は、今までの生活にありがたさも感じずに甘えて生きてきた自分を、恥ずかしく思いました。同時に、毎日のように見聞きする、自ら命を絶つ事件や人を傷つける事件が多発する世の中のことを、申し訳ないと思いました。

だから、みなさんに考えてほしいことがあります。今までの自分を振り返ってみてください。友達のことを傷つけたことはありませんか。小さなことにも、感謝の気持ちで接していますか。日常の生活があたりまえと思っていると、大切なことを見落としてしまいます。もし身近に困っている人がいたら、手をさしのべてあげませんか。東日本大震災には、日本中、世界中からたくさんの支援の手がさしべられました。人と人とのつながりは社会を明るくし、世の中を変えるエネルギーとなります。近くにいる者同士が仲良くすれば、悲しい事件を減らせると思います。こうして世の中が明るくなれば、被災者の方々に対する励ましとなつて、必ず被災地に届くと思いません。

入院生活は辛かったけれど、あたりまえの生活ができる喜びと幸せを私に教えてくれました。今ではとても良い経験だったと思っています。家族や友達がいてくれることがどれほど幸せかということ、家族や友達のお陰で私のあたりまえの生活が守られていること、そして身近な幸せを感じる心の大切さ、こんなに大事なことに気付かせてくれたのです。私は、この入院生活で気付いた大切なことを絶対に忘れずに、これからの生活に生かしていこうと思います。

8/16~29

農作業を通じて深める 都市若者との交流

8月16日〜29日にかけて、地域づくり活動や交流プログラムの取り組み「地域づくりインターン」の5日間では、緑のふるさと協力隊の体験版「集落ふるふる協力隊」の3名、他経験者等合計10名が来村し、活動をしました。

農作業や直売所の手伝いをしたり、地区のお祭りに参加したり、どうどう太鼓の練習、親子料理教室に参加したり…。様々な活動を通して村の方と触れ合いました。最後の報告会では、福祉を勉強している学生が、「福祉とは、周りの人に挨拶をしたりして関係を築き、最終的には人を幸せにすること。高山村では挨拶はもちろん、どこへ行くだけでも自然に輪に入れてくれるなど、福祉の精神がとけ込んでいる。理



これで鳥も撃退?! かかし作り☆

想的な村だ。」と話してくれました。また、地域づくりインターンの会の学生は、高山村の新しいおみやげとして、りんどうの押し花とたかやま編みストラップを使ったしおり、高山かるたを活用した手作りのMAPを提案してくれました。頂いた意見は今後活かしていきたいと思えます。

都会から若者を受け入れ、農作業の手伝い等を通して交流を深めるプログラムを今後も行っていきますので、みなさんのあたたいご協力よろしくお願ひします。受け入れてみたいという方は、役場地域振興課までご連絡をお願いします。



集落ふるふる協力隊
報告会の様子



手作りの
りんどうのしおり



懇親会では
熱く語り合いました!



ひまわりグループの方に教わる
初めてのまんじゅう作り!

8/20・9/17

避難者と 食改推の交流

8月20日、9月17日に月に1度の昼食のお手伝いに行ってきました。

8月は、北之谷、熊野地区の7名の方がお盆の時期に合わせて「おはぎ(つぶあん、ごま)」「そうめん」「夏野菜の天ぷら」「塩もみ」などを作りました。

9月は、梅沢、茶屋ヶ松、原地区の5名の方がお彼岸にあわせ「まいたけのませ御飯」「手作りこんにやくの煮物」「えごまのおはぎ」「いんげん和え」「具だくさんみそ汁」「漬け物」を作りました。両地区とも季節にあ

わせた献立を考えて、旬の食材を使い手早においしくできあがり皆さんにとても好評でした。

皆さんからは、ふるさと祭りに参加した話や、今後の生活の話などを聞いてきました。

食改推の皆さんにおかれましては、暑い中大変ご苦労さまでした。





去る8月24日(水)、群馬県社会福祉総合センターに於いて、県老連囲碁・将棋大会が開催されました。当日は、吾妻郡代表として、梅沢の阿部八郎さんが囲碁で参加いたしました。囲碁では22名の参加がありました。その中で見事優勝いたしました。

8/24

群馬県老人クラブ
連合会囲碁・将棋
大会開催

8/28

役原獅子舞

8月28日、役原の諏訪神社のお祭りが行われました。

午前中は、五穀豊穰・悪魔退散・氏子安泰・天下太平を祈願する式典が行われました。

午後は、踊り手である子供たちが毎晩練習してきた、獅子舞が多くの見学者が見守る中で奉納されました。

なお、多くのカメラマンを引き付ける魅力を持った貴重な伝統文化であるようです。



8/31

葉タバコの
収穫終了

8月31日のタバコ畑は、葉を全て収穫した後で、茎だけが残っている畑と、茎を根元から切つて横に並べてある畑がありました。残った根も後で抜いてから畑を耕すそうです。

また、ビニールハウスで葉を乾燥していましたが、乾燥が終了したためハウスのビニールも片づけられていました。9月末頃から、葉の選別が行われるそうです。



9/1・11

中山神社・尻高神社の
秋祭り

9月1日は中山神社で、9月11日は尻高神社で秋祭りが行われました。秋の豊作感謝と氏子の安全を祈願した神事(神を祭ること)に続き



尻高神社



四人の舞 中山神社



尻高神社



うづめの舞 中山神社

9/9

中学校体育大会

9月9日、台風で延期になっていた中学校の体育大会が開催されました。

残暑で夏の様な暑さの中、午前中は、陸上記録会の部で、徒競争、走り幅跳びや走り高跳び、ハン下ボール投げ等が父兄の方も計測に加わり、和やかに行われていました。

午後は、運動会の部で、クラス毎の応援合戦や生徒会考案種目では、借り物競走やマシユマロを小麦粉の中から探し出したり、バットまわり（野球バットを中心に頭をつけて、体ごとぐるぐる回る目が回る）をしてから走るリレーが行われ、体育大会は盛大に開催されました。



9/9・10

ぐんまちゃん家

9月9日、10日の2日間、銀座にある群馬県のアンテナショップ、ぐんまちゃん家でぐんま天文台と高山村の合同観光PRが開催されました。村では、ナス、ミョウガ、たかやまキュウリ、カボチャ等の美味しい新鮮野菜の販売を行いました。直売所の方に作っていただいた試食用の漬物や煮物が好評であったことも手伝い、短時間でほとんどの野菜が売り切れしました。トウモロコシを試食した方は「何でこんなに甘いんですか?」と甘さに感動していました。



9/10

小学校大運動会

9月10日、小学校大運動会が、「仲間を信じて優勝めざせ!」をスローガンに開催されました。中学校の体育大会に続いて、この日も残暑きびしく、心身ともに熱い一日となりました。

また、体育館では校内図画展が開催されており、生徒達の力作に心がなごみました。



校内図画展





みたらしだんご!!



お〜つきさ〜ま〜♪

9/12
 おだんご
 おいしかったな〜

9月12日、幼稚園で十五夜の会が開かれました。
 最初に皆で「お月さまの歌」を元気に歌ってから、先生方の創作影絵「びよんびよん山のうさぎ」を見ました。最後にお待ちかねのおだんごを美味しくいただきました。楽しい十五夜の会となりました。

9/19
 高齢者慶祝訪問が
 実施されました

9月19日の敬老の日を中心に村内に在住する高齢者の方々に慶祝訪問し敬老祝金が支給されました。
 90歳以上の方は村長が、80歳から89歳の方は各地区の民生委員さんが訪問し皆様の元気な様子を確認してまいりました。
 これからも、皆様が末永く健康やかに暮らせますよう心よりお祈り申し上げます。

年齢層	原	本宿	新田	五領	判形	役原	関田	戸室	火の口	北之谷	熊野	梅沢	茶屋ヶ松	老人ホーム	計
90歳以上	5	11	6	6	14	4	4	4	2	1	5	2	1	16	81
85歳から89歳	14	24	23	11	21	6	13	5	7	3	9	4	0	8	148
80歳から84歳	24	32	32	17	33	12	14	10	10	12	7	5	2	14	224
計	43	67	61	34	68	22	31	19	19	16	21	11	3	38	453



美しい花に
 心癒されて

今年も、花いっぱいネットワーク（関根盛数 会長）の皆さんを中心に、各種団体や個人の方が村内の沿道等にきれいな花を咲かせて、見る人の心を癒してくれています。
 村外から高山に入ってくると花々が「ようこそ！」と迎えてくれるようになります。早朝から除草するなど見えない影の力で村が花でいっぱいになっています。

